

# 労働災害発生状況

[平成28年死傷災害発生状況]  
(全業種共通編)

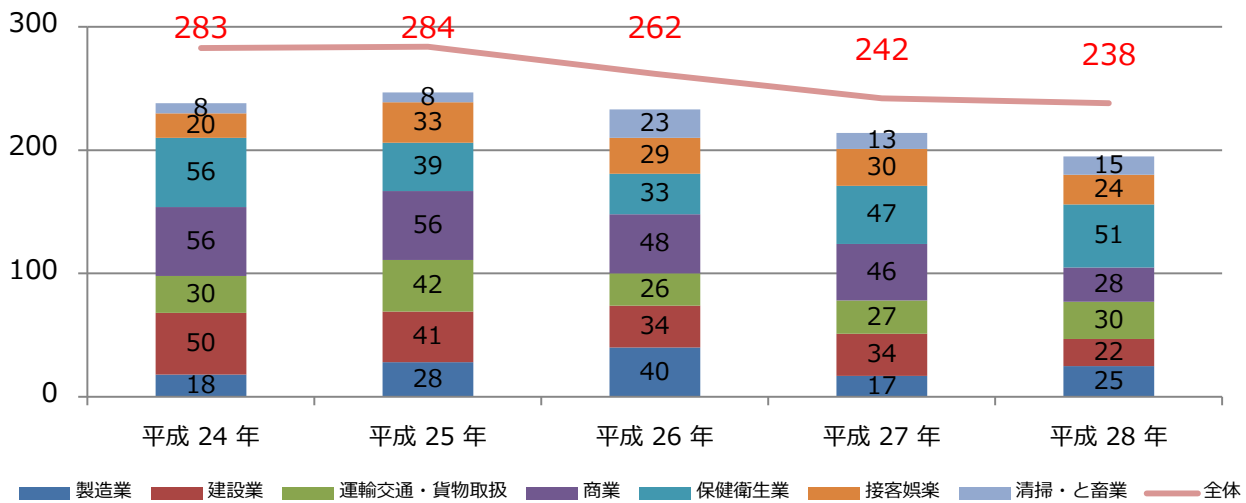
データ:労働者死傷病報告による

## 労働災害発生件数の推移

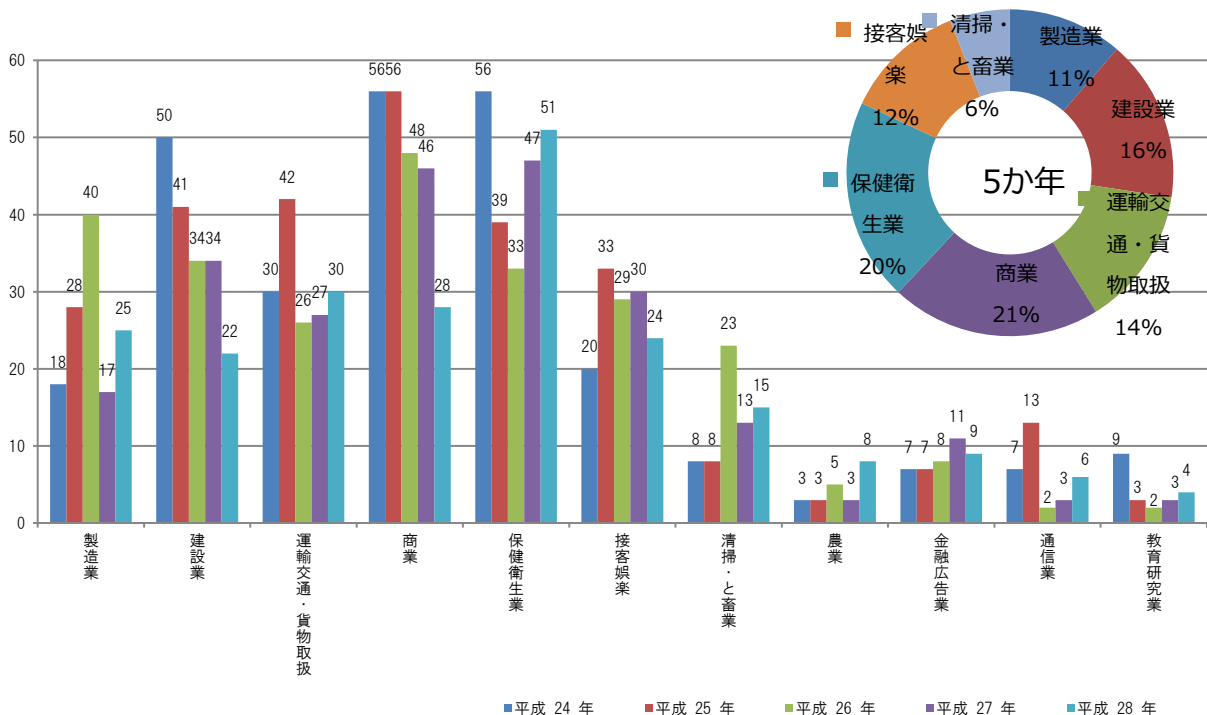
八王子労働基準監督署町田支署管内の休業4日以上労働災害は、平成25年の284人から減少傾向にあり、平成28年は238人となりました。

平成28年は業種別では「保健衛生業」が51人(前年+4)でもっとも災害の多い業種となっています。

また、5ヶ年(平成24年～平成28年)では、全体に占める割合が多いものから、商業21%、保健衛生業20%、建設業16%などとなっています。



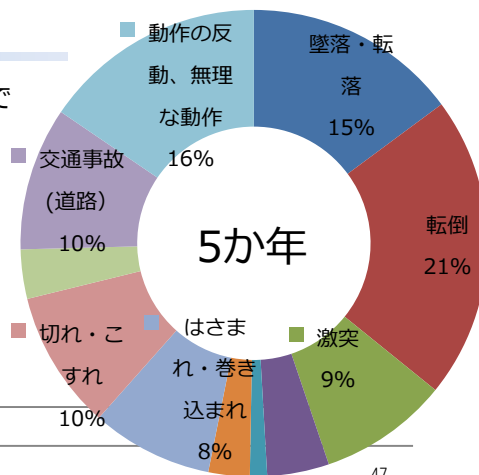
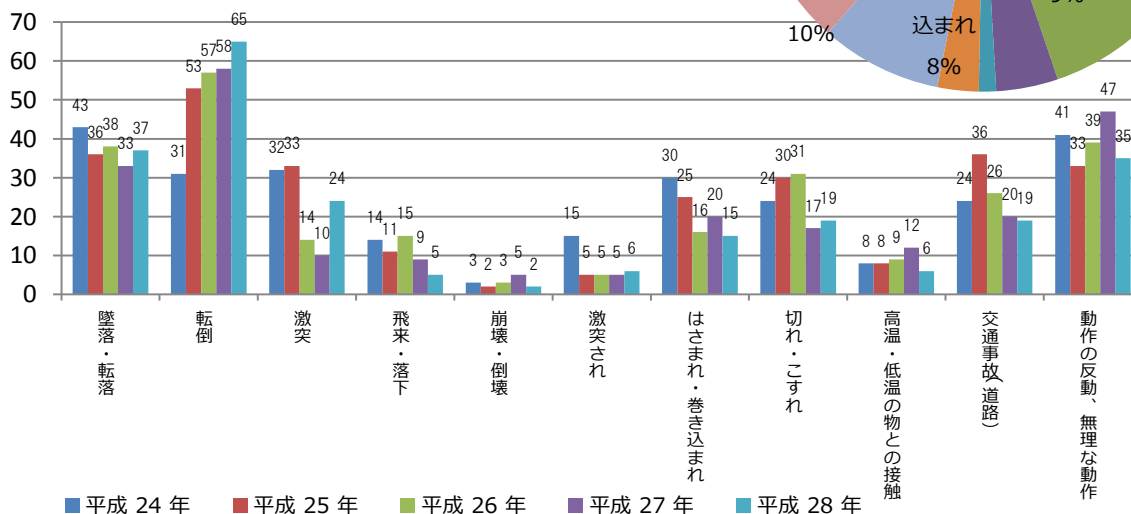
■製造業 ■建設業 ■運輸交通・貨物取扱 ■商業 ■保健衛生業 ■接客娯楽 ■清掃・と畜業 ■全体



## 事故の型別

平成24年から平成28年の5か年でみると、「転倒」が21%でもっとも多くなっています。ついで「動作の反動・無理な動作」が16%、「墜落・転落」が15%と多くなっています。

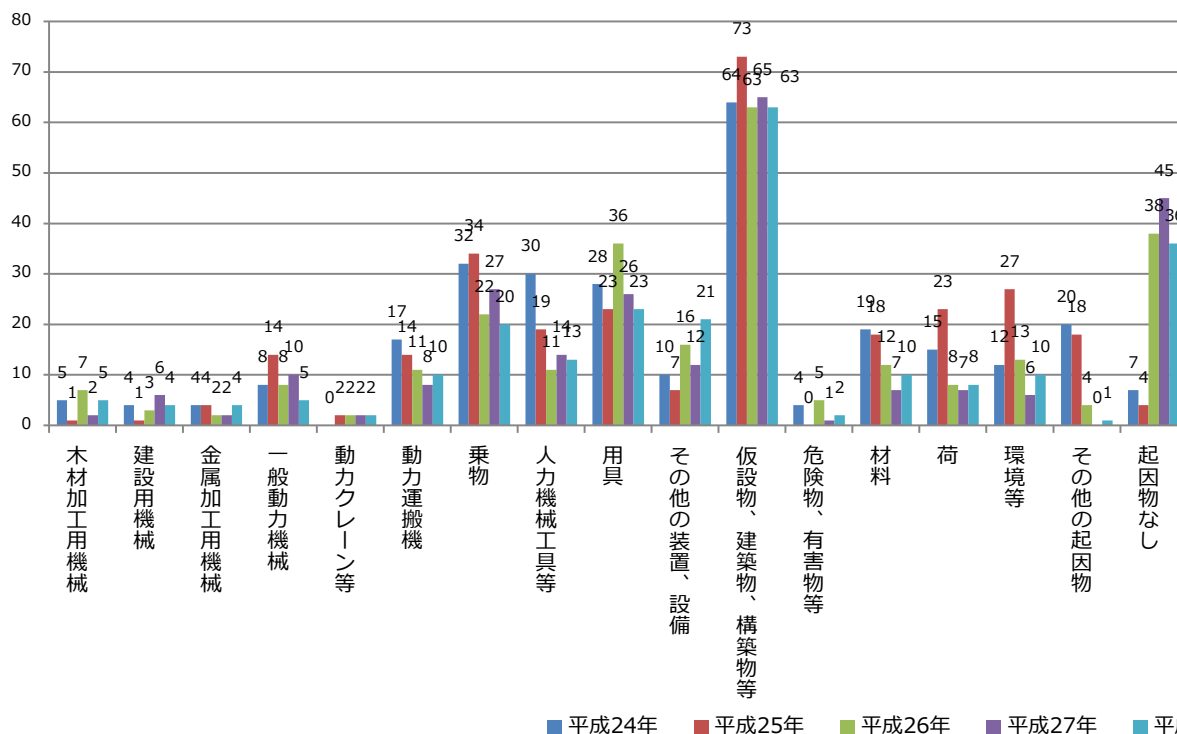
重篤な災害となる「墜落・転落」や「はさまれ・巻き込まれ」などが減少傾向にあるのに対し、「転倒」が増加傾向にあります。



## 起因物別

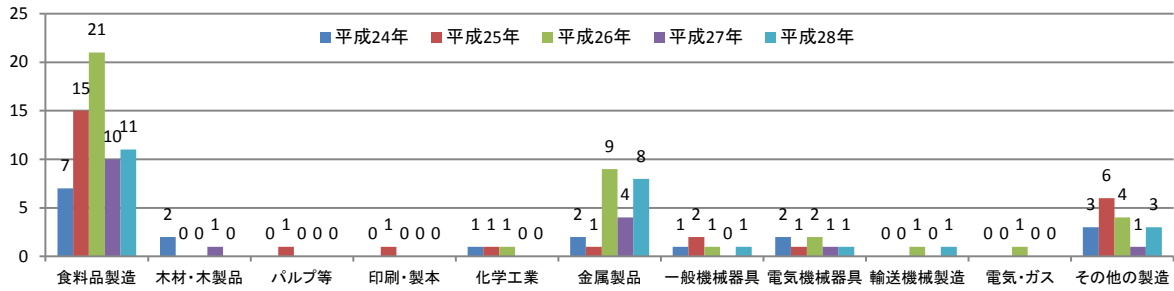
起因物別でみると、足場、階段、通路、作業床などの「仮設物、建築物、構築物等」が最も多くなっています。また、近年ではさらに、腰痛や平滑な通路上で足の捻挫などの「起因物なし」が増加傾向にあります。

はしごなどの「用具」や、乗用車、バス、バイクなどの「乗物」、ハンマなどの「人力機械工具」なども多くなっています。

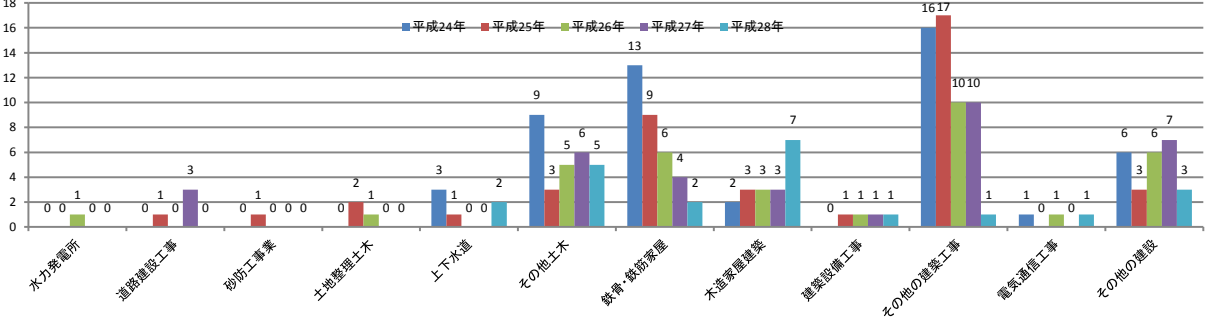


# 業種別

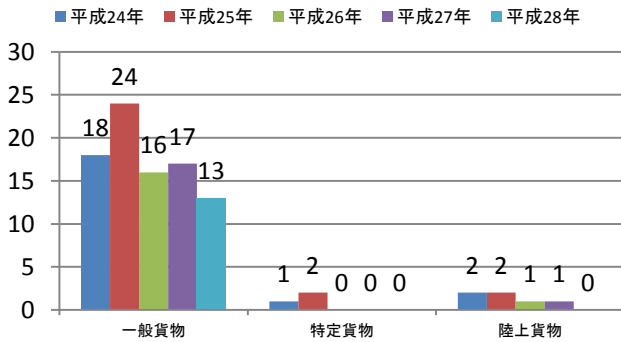
## 「製造業」 (中分類)



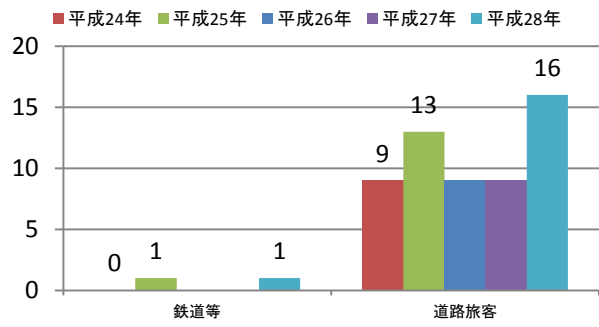
## 「建設業」 (小分類)



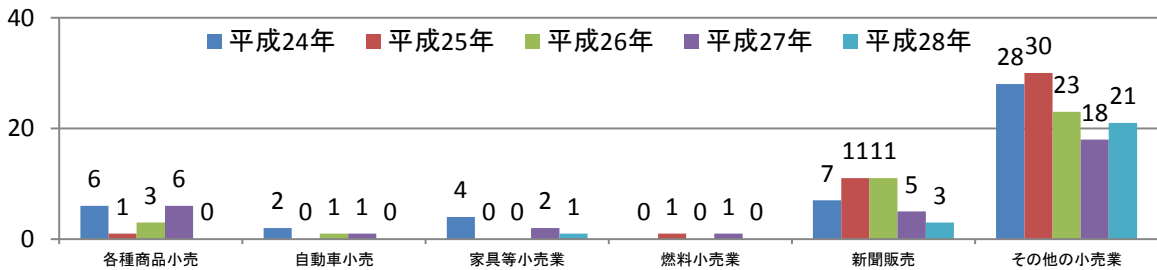
## 「陸上貨物運送事業」 (中分類)



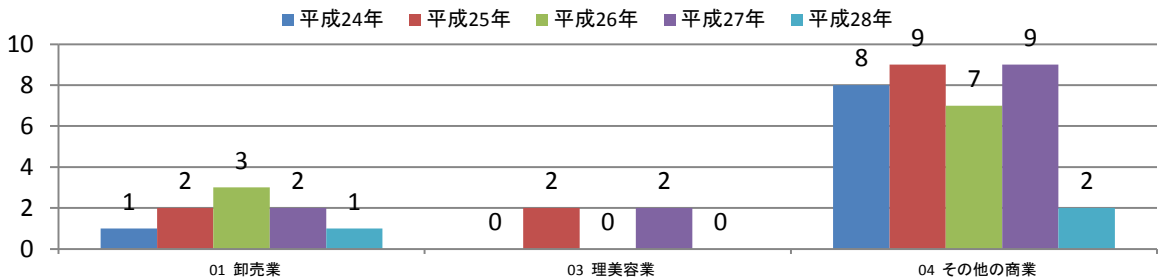
## 「運輸交通業 (貨物除く)」 (中分類)



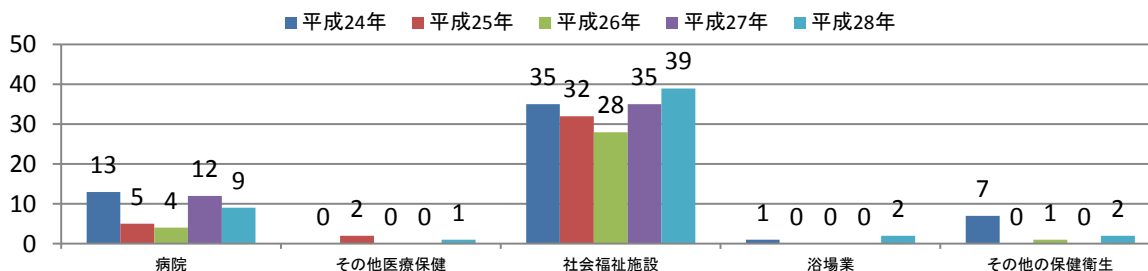
## 「小売業」 (小分類)



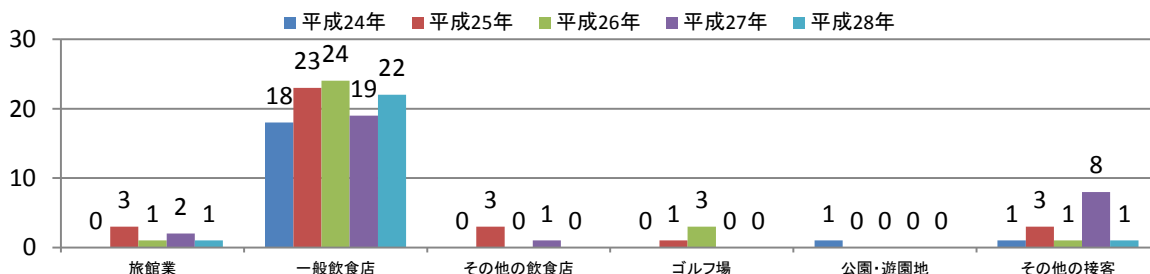
## 「商業 (他)」 (小分類)



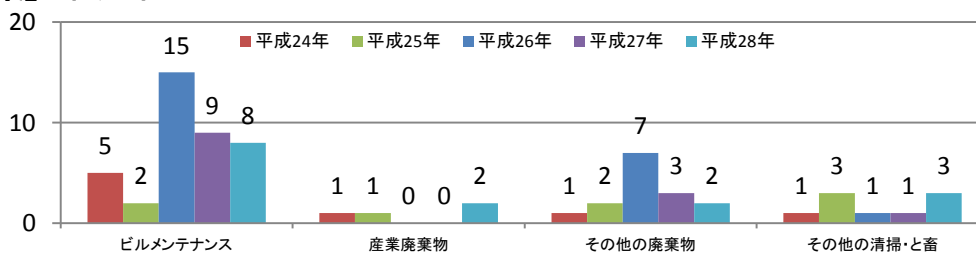
### 「保健衛生業」 (小分類)



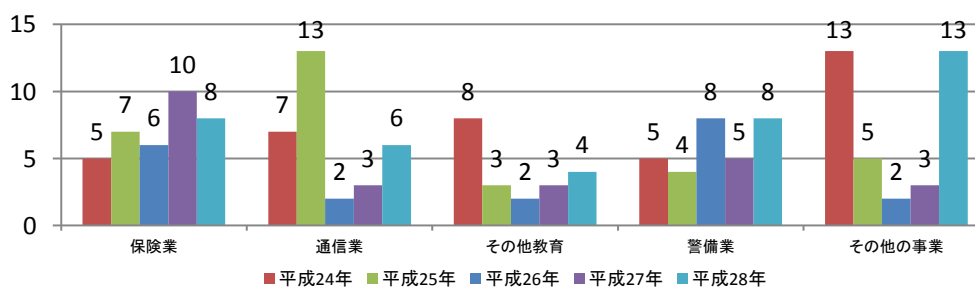
### 「接客娯楽業」 (小分類)



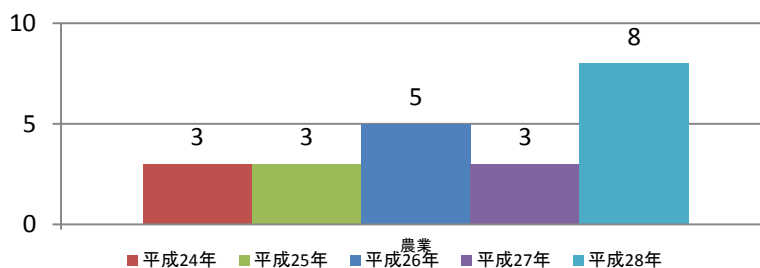
### 「清掃業」 (小分類)



### 「3次産業 (他)」 (小分類)

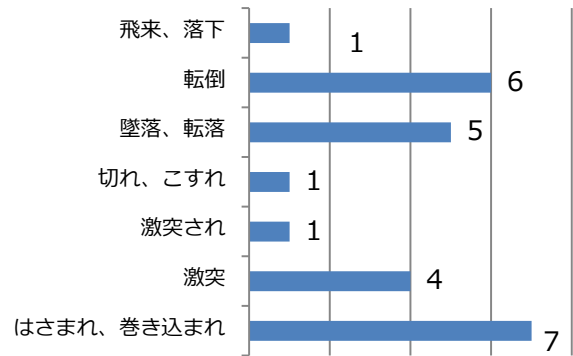
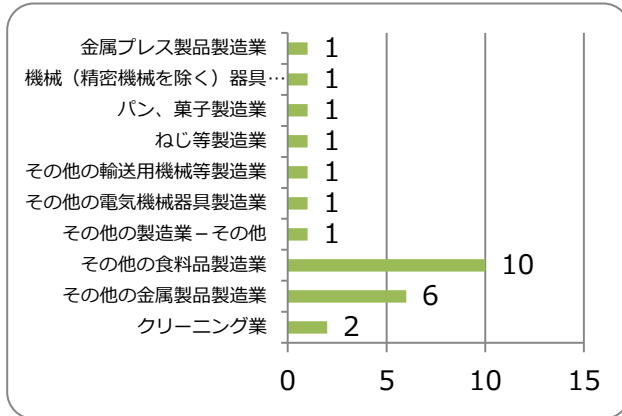


### 「農業」 (中分類)

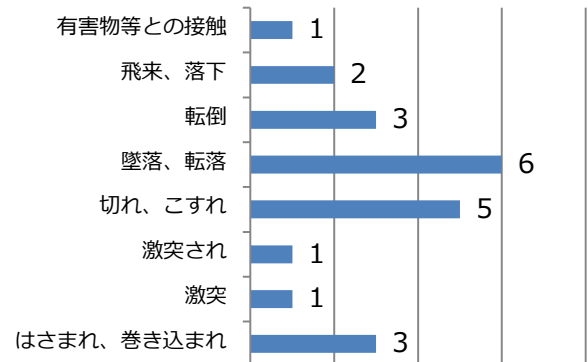
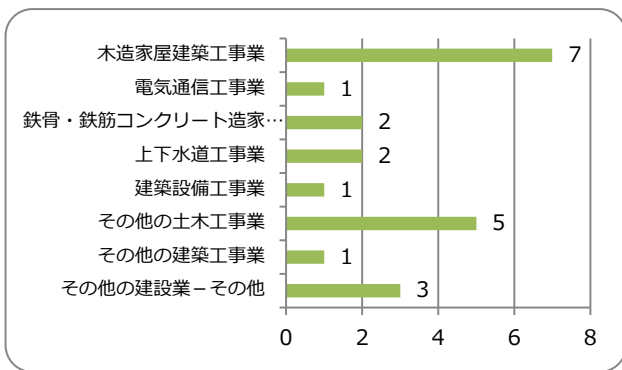


# 業種別・事故の型別(平成28年)

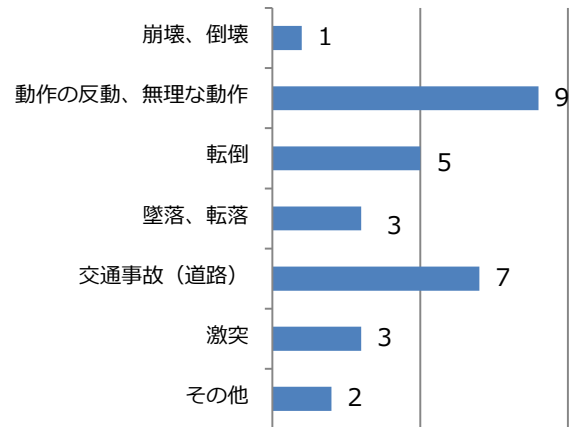
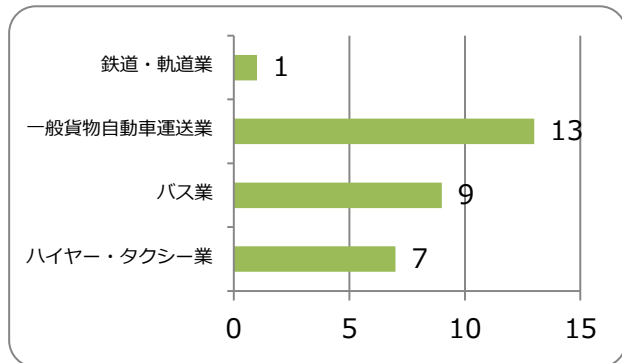
## 「製造業」



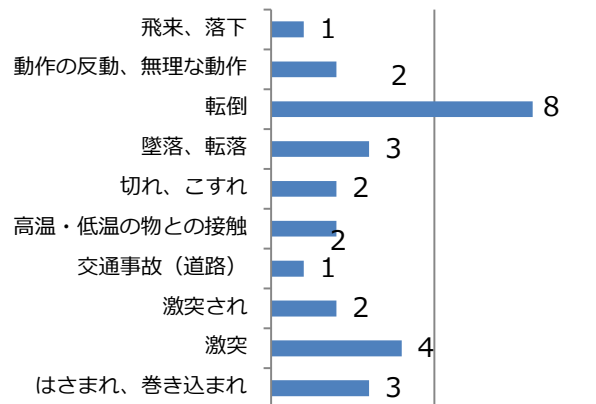
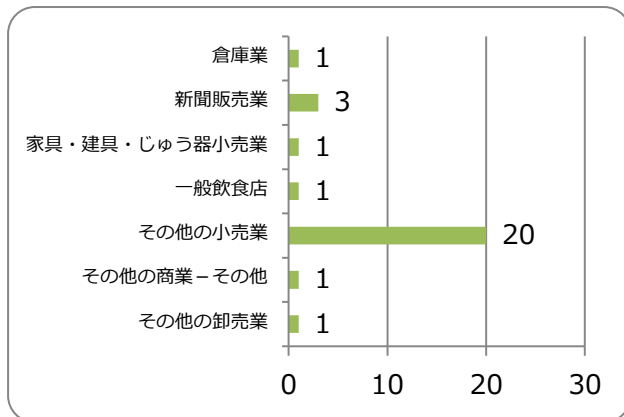
## 「建設業」



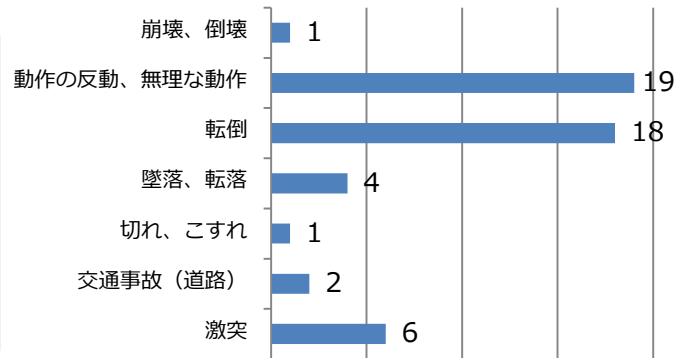
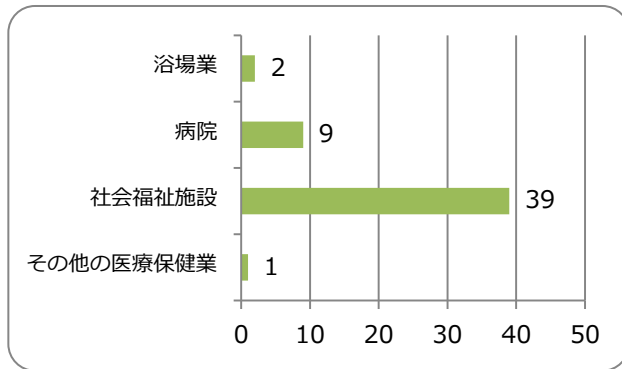
## 「運輸・交通業」



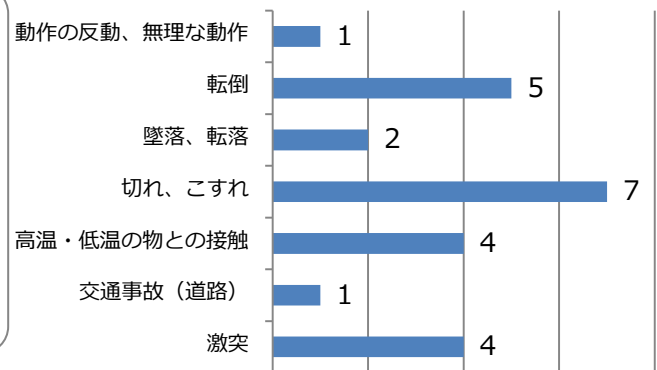
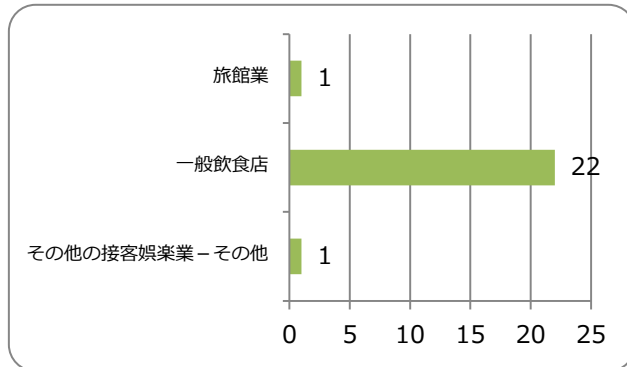
## 「商業」



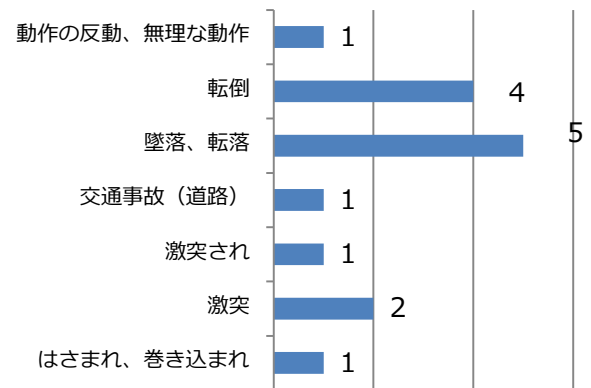
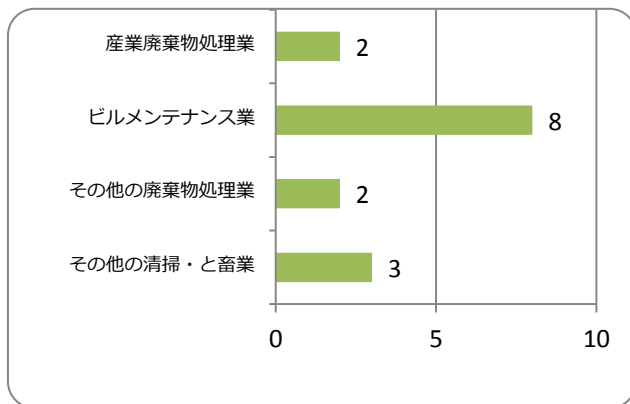
## 「保健衛生業」



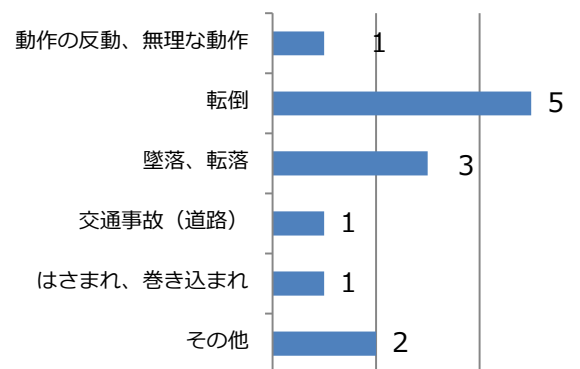
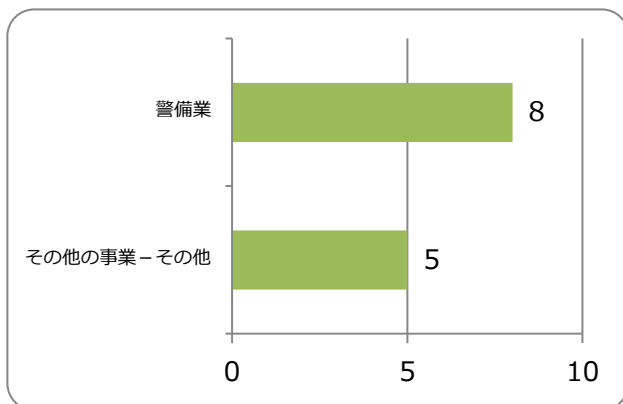
## 「接客娯楽業」



## 「清掃業」

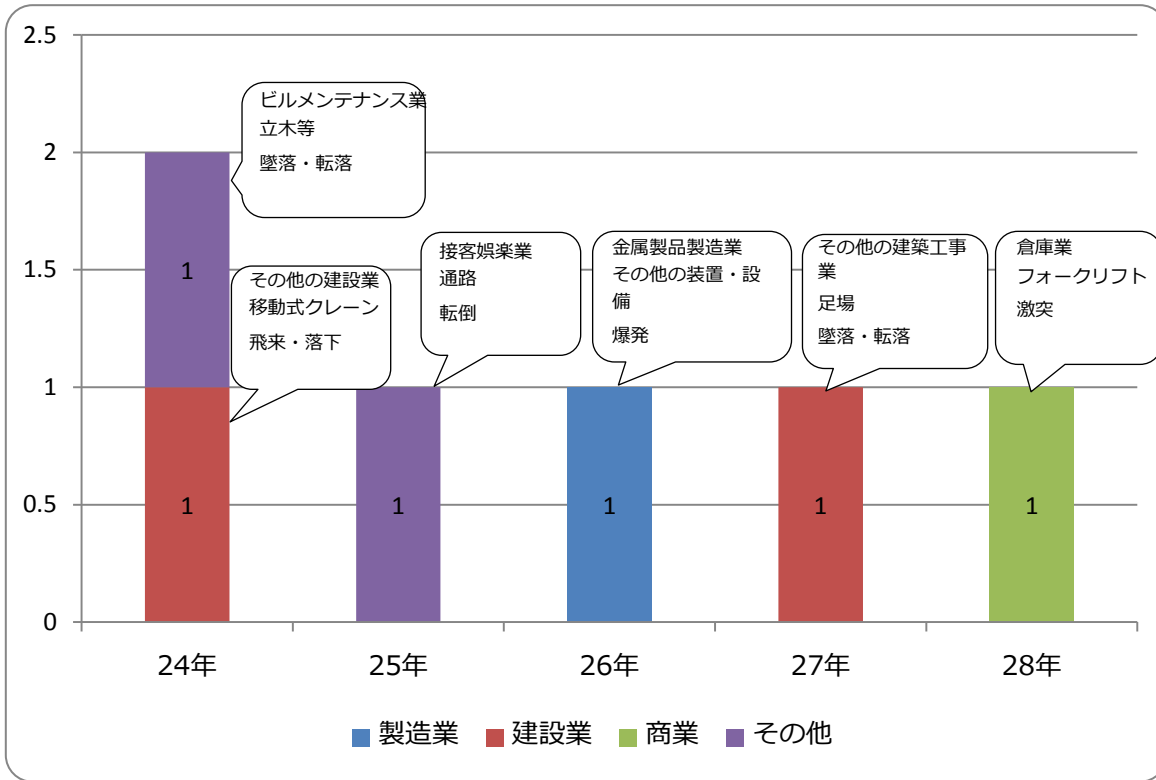


## 「その他の事業」



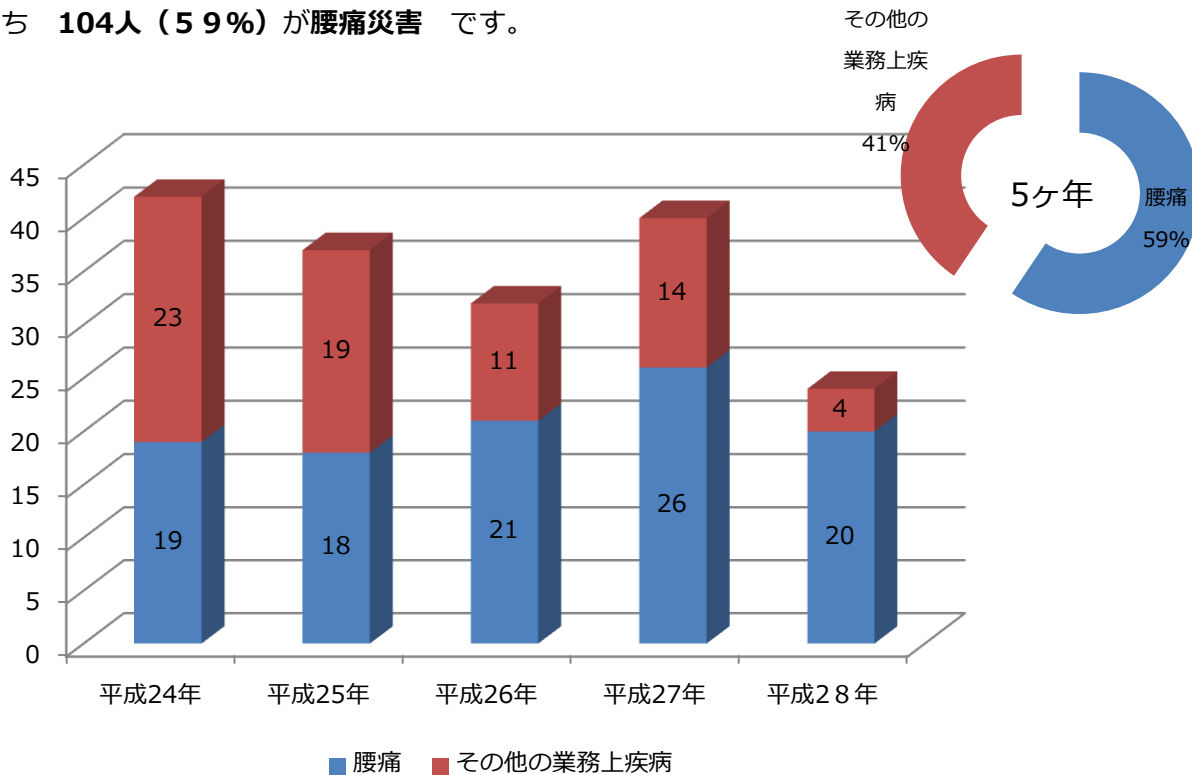
## 死亡災害発生状況

死亡災害は平成24年～平成28年の5ケ年で**6人**となっています。

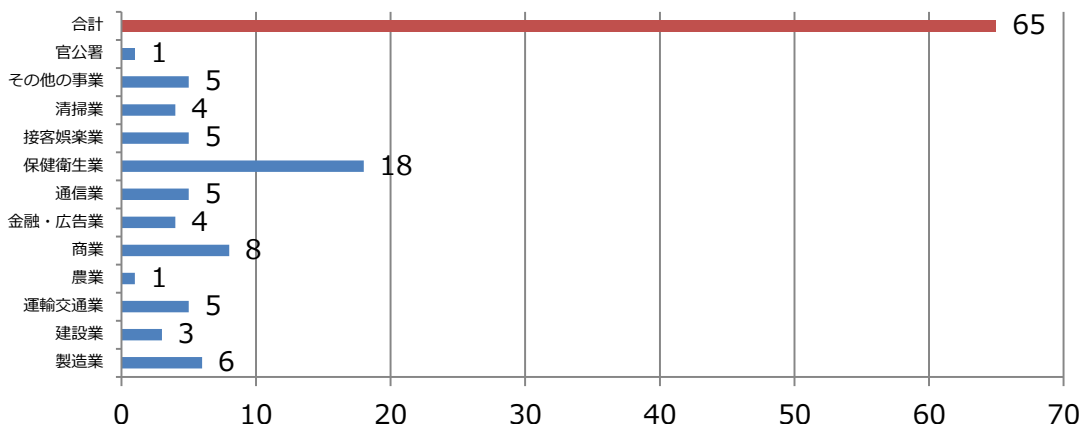


## 業務上疾病発生状況

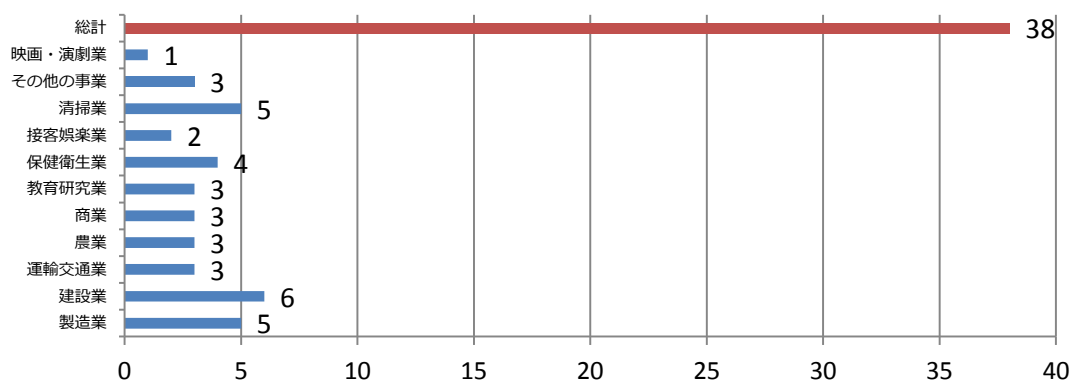
業務上疾病は、平成24年～平成28年の5ケ年で**176人**で、そのうち **104人 (59%)** が腰痛災害 です。



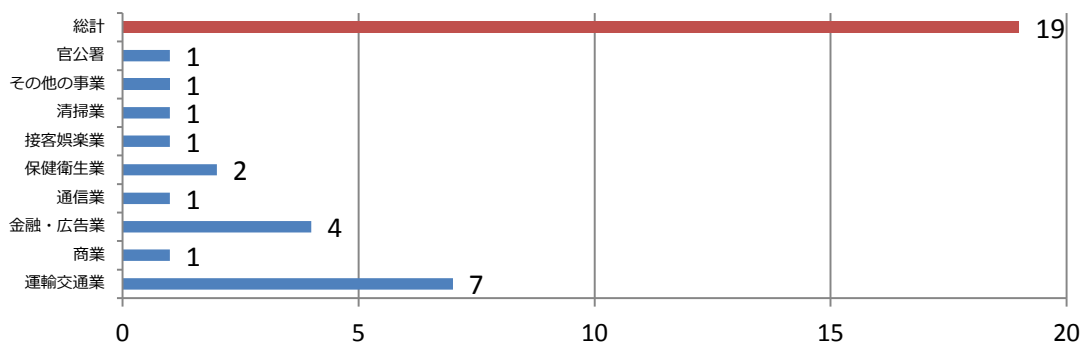
## 転倒災害発生状況(平成28年、業種別)



## 墜落転落災害発生状況(平成28年、業種別)



## 交通事故発生状況(平成28年、業種別)



## 機械災害発生状況(平成28年、起因物別)

